

2026年2月6日
水戸市民会館 運営事務局

水戸市民会館主催事業

「佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴァイオリン：三浦文彰」の開催について

2026年6月3日（水）に、主催事業として「佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴァイオリン：三浦文彰」を水戸市民会館グロービスホールにて開催します。

世界で活躍する指揮者の佐渡裕氏と、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽の演奏でも鮮烈な印象を残した次代の巨匠、ヴァイオリニストの三浦文彰氏がブラームスの最高傑作を奏でます。

今なお進化を続ける新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡裕氏の演奏にもご期待ください。

ぜひ貴媒体で御紹介くださいますようお願い申し上げます。

- 1. 開催日時 2026年6月3日（水） 開場時間 17:30 開演時間 18:30
- 2. 場所 水戸市民会館グロービスホール
- 3. 出演 佐渡 裕（指揮/音楽監督）、
 三浦 文彰（ヴァイオリン）、
 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 4. チケット 2月7日（土）から水戸市民会館友の会先行発売
 2月11日（水・祝）から一般発売

※詳しい出演者のプロフィールの詳細は、
添付のリーフレットまたは右の二次元コードをご覧ください。



お問合せ

〒310-0026 茨城県水戸市泉町1丁目7番1号
水戸市民会館 指定管理者 株式会社コンベンションリンケージ
TEL：029-303-6226 / FAX：029-303-6225 / メール：mito-hall@c-linkage.co.jp
担当：菊池

佐渡裕

指揮

新日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン 三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

交響曲第1番 ハ短調 Op.68



2026 6.3 水

18:30 開演
[17:30 開場]

水戸市民会館

料金【全席指定・税込】

S席 9,000円（友の会会員は500円引） / A席 7,500円 / B席 5,000円

発売日

友の会先行 / 2月7日 [土] 13:00~ 一般発売 / 2月11日 [水・祝] 10:00~

※未就学児入場不可※チケットの譲渡及び転売は固く禁じております。※公演中止を除き、チケットの払い戻し、交換などはお受けできません。※車椅子、補助犬同伴のお客様はスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。※開演時間を過ぎてのご入場は制限させていただきます場合がございます。

プレイガイド

水戸市民会館チケット予約サイト
<https://www.mito-hall.jp/ticket/>

詳しくは
こちらから



窓口・お電話での チケット販売 **029-350-6060**

(平日 / 9:00~20:00、土日祝日 / 9:00~17:00)

主催 | 水戸市民会館

公演に関するお問合せ 水戸市民会館 運営事務局 TEL:029-303-6226 FAX:029-303-6225 E-mail: mito-hall@c-linkage.co.jp 〒310-0026 茨城県水戸市泉町1丁目7番1号

アクセス ○ 水戸駅北口から徒歩で約20分 ○ 公共交通機関をご利用の方 / 水戸駅北口(4~7番乗り場)から約5分、「泉町一丁目」下車、徒歩1分 ○ お車でお越しの方 / 近隣・周辺の駐車場をご利用ください。

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス!

音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。

愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。

ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。

練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。

ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。



© Masahiro Uto

三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックのアーティストスティック・リーダー。24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルブ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、スカーマン、ロウヴァリ、フルジャなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、スカーマン、マイスキー、ヒリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1732年製ヴァルネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮/音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年プザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルザレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕はいつか指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



© Peter Rigaud c/o Shortview Artists

新日本フィルハーモニー交響楽団

NEW JAPAN
PHILHARMONIC
SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(75~79年)、第2代音楽監督・井上道義(83~88年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(03~13年)、第4代音楽監督・上岡敏之(16~21年)。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(10~16年)、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(13~15年)、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)音楽監督(04~25年3月)、Music Partner(20~25年3月)を務めた。

受賞歴に三菱信託音楽奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト: www.njp.or.jp 公式X: @newjapanphil
公式Facebook: /newjapanphil 公式Instagram: /newjapanphil

© K.Miura

